

Storageコイン (STRG) ホワイトペーパー

買い切り型Web3ストレージプラットフォーム

目次

1. 概要
2. ビジョンとミッション
3. プラットフォーム機能
4. トークンエコノミクス
5. ユーティリティ設計
6. インセンティブシステム
7. 技術仕様
8. ロードマップ
9. ガバナンス
10. 収益モデル
11. リスクと対策

1. 概要

Storageコイン (STRG) は、Web3ストレージサービス「DIVER Storage」における容量購入・報酬獲得・成長参加を実現するユーティリティトークンです。

主要機能

- 買い切り型容量購入: 月額制から脱却した永続利用モデル
- ウォレット認証: Web3ネイティブのセキュアなアクセス管理
- エージェント報酬: 紹介活動による段階的な報酬獲得
- 多層的ユーティリティ: ステーキング、プレミアム機能、分散参加
- DAO運営: コミュニティ主導の意思決定

2. ビジョンとミッション

ビジョン

「持続可能な実用性とコミュニティ主導の拡張性を持つWeb3ストレージ経済圏」

ミッション

1. サブスクリプション依存からの解放
2. ユーザー貢献への適切な評価と報酬
3. 分散型ストレージエコシステムの構築
4. 透明性の高いDAO運営の実現
5. Web3技術による真のデータ主権の確立

3. プラットフォーム機能

3.1 買い切り型ストレージ

基本価格体系

プラン名	容量	特徴
Starter	2GB	エントリーレベル、お試し利用に最適
Basic	100GB	個人利用の基本プラン
Standard	500GB	最も人気の標準プラン
Pro	2TB	プロフェッショナル向け大容量プラン

*注:各プランのSTRG価格は、市場環境とコミュニティガバナンスにより決定されます。全プラン買い切り型で、一度購入すれば実質永久に(99年間)利用可能です。ウォレット認証により、真のデータ所有権を実現します。

3.2 エージェントシステム

ランク別報酬構造

ランク	達成条件	報酬体系
ブロンズ	初級レベルの活動	基本報酬率
シルバー	中級レベルの活動	向上した報酬率 + チーム報酬
ゴールド	上級レベルの活動	最高報酬率 + 各種特典

*注:具体的な達成条件と報酬率は、エコシステムの成長段階に応じて調整されます。

3.3 プレミアム機能

サービスカテゴリー	価値提供
開発者向けツール	API連携、自動化機能
サポート強化	優先対応、専任サポート
セキュリティ強化	高度な暗号化、追加保護
データ保護	冗長化、複数拠点保存

*注:各サービスの詳細と価格は、パートナー企業との協議により決定されます。

4. トークンエコノミクス

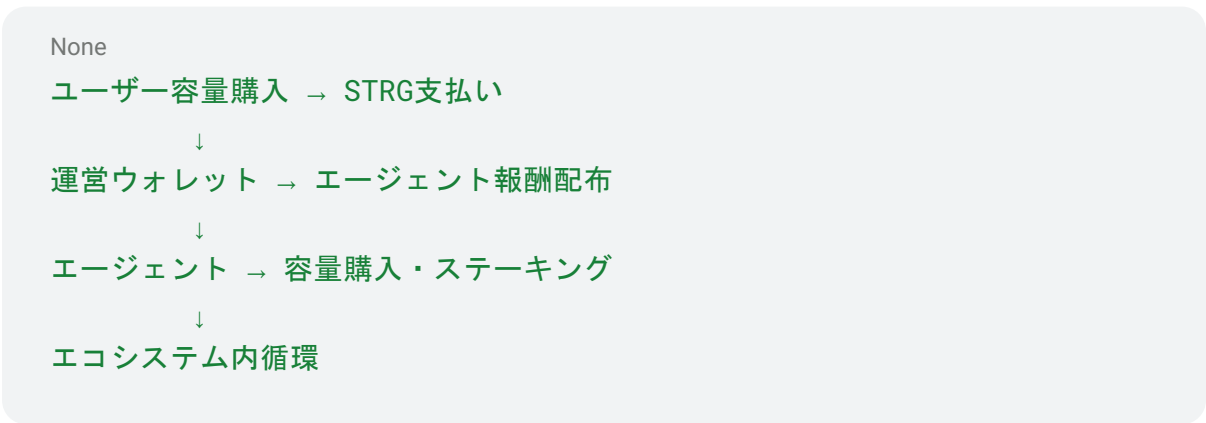
4.1 トークン概要

項目	詳細
トークン名	Storageコイン (Storage Token)
シンボル	STRG
総発行量	1,000,000 STRG
ブロックチェーン	DIVER Chain
規格	DRC-20

4.2 配分計画

用途	配分率	数量	詳細
一般公開	40%	400,000	初期参加ユーザー向け
開発・運営	30%	300,000	継続的開発支援
エージェント報酬	20%	200,000	紹介活動インセンティブ
リザーブ	10%	100,000	将来施策用

4.3 循環モデル



5. ユーティリティ設計

5.1 フェーズ別実装

Phase 1(即時実装)

- ストレージ容量購入
- エージェント報酬システム
- 基本インセンティブプログラム

Phase 2(3～6ヶ月後)

- スターキング機能
- プレミアムサービス
- 企業向け機能

Phase 3(12ヶ月後～)

- 分散ストレージプロバイダー
- データエコノミー参加
- AI学習報酬

5.2 スターキング特典

スターキングレベル	特典内容
スタンダード	基本的な割引権
プレミアム	大幅な割引権と優先アクセス

*注: 具体的なスターキング条件と割引率は、DAOガバナンスにより決定されます。

6. インセンティブシステム

6.1 初回利用促進

- 初回購入ボーナス: 購入額に応じたSTRG還元
- 友達紹介: 紹介者・被紹介者双方へのインセンティブ

6.2 継続利用インセンティブ

- 月間利用量に応じた報酬率向上
- 連続利用日数によるボーナス付与
- コミュニティ貢献報酬

7. 技術仕様

7.1 システムアーキテクチャ

- ブロックチェーン: DIVER Chain(高速・手数料無料)
- トークン規格: DRC-20(Ethereum互換)
- NFT拡張: DRC-1155(プレミアム機能用)
- ウォレット: DIVER Wallet Pro
- 認証方式: ウォレットコネクトによるWeb3認証
- データ管理: オンチェーンアクセス制御

7.2 セキュリティ

- マルチシグトレジャリー管理
- 自動異常検知システム
- セルフカストディ構造
- 定期的外部監査
- 秘密鍵による完全な自己主権
- スマートコントラクトベースのアクセス制御

8. ロードマップ

Phase 1: Q1 2025 (初期ローンチ)

- STRG発行・配布開始
- 基本ストレージ決済実装
- エージェント登録開始

Phase 2: Q2 2025 (機能拡張)

- ステージング機能追加
- プレミアムサービス開始
- 企業向け管理ツール

Phase 3: Q3 2025 (分散化)

- プロバイダー機能実装
- データエコノミー開始
- DAO投票システム

Phase 4: Q4 2025 (成熟期)

- 国際展開検討
- 他チェーン連携
- 完全DAO移行

9. ガバナンス

9.1 DAO構造

投票権

- STRG保有量に応じた投票権付与
- 最低保有要件による参加促進

意思決定事項

- エージェント報酬比率
- ステージング報酬ルール
- プレミアム機能の新設
- トークン循環設計

9.2 提案プロセス

1. コミュニティメンバーによる提案
2. 十分な議論期間の確保
3. 投票実施
4. 規定賛成率での可決

10. 収益モデル

10.1 トークン需要源泉

ユースケース	利用者	説明	特徴
ストレージ購入	一般ユーザー	容量に応じたSTRG支払い	実用性に基づく安定需要
エージェント報酬	紹介者	成果に応じたSTRG受領	トークン循環による拡大
ステーキング	長期保有者	割引権獲得のための保有	売却抑制効果
プレミアム機能	高度ユーザー	追加機能へのSTRG支払い	高単価需要
Web3統合サービス	DApps開発者	API利用料のSTRG支払い	エコシステム拡大

10.2 循環促進メカニズム

- エージェント報酬の再利用誘導
- ステーキングによるロックイン
- プレミアム機能の段階的開放
- バーン設計による供給調整

11. リスクと対策

11.1 規制リスク

対策

- 各国法規制への継続的対応
- ユーティリティトークンとしての明確な位置づけ
- 法務アドバイザリー体制

11.2 技術リスク

対策

- 段階的なシステム拡張
- 冗長性のあるインフラ設計
- 24時間監視体制
- スマートコントラクト監査の徹底
- ウォレット接続の安全性確保

11.3 市場リスク

対策

- 多様な需要創出メカニズム
- コミュニティ主導の改善
- 柔軟な報酬調整機能
- Web2ユーザーへの教育プログラム

11.4 Web3特有のリスク

対策

- 秘密鍵紛失への対策（リカバリー機能の検討）
- ガス代高騰への対応（DIVER Chainの活用）
- フィッシング攻撃への警告と教育

付録

用語集

- STRG: Storageコイン、本プラットフォームのネイティブトークン
- DIVER Storage: 買い切り型Web3ストレージサービス
- エージェント: 紹介活動を行うユーザー
- DAO: 分散型自律組織

免責事項

本ホワイトペーパーは情報提供を目的としており、投資勧誘を意図したものではありません。記載内容は予告なく変更される場合があります。Web3技術の利用には固有のリスクが伴います。ウォレットの秘密鍵管理は利用者の責任において行ってください。

最終更新: 2025年7月